東温市事務事業評価シート　平成24年度実施事業対象

No.	010 — 3001	事務事業名	畜犬管理事務	細事務事業名		公的関与	4

PLAN

課　名	市民環境課	係　名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち	政策項目	1 環境施策の総合的推進	主要施策	(1)「環境先進地・東温」づくりの総合的推進	

事業の対象	東温市民で犬・猫を飼っている方	根拠法令	狂犬病予防法
事業の目的	最終的	犬を飼っている全ての東温市民に犬の登録、狂犬病予防注射の接種を推進し、狂犬病の発生・蔓延を防ぐこと。人の生命、身体、財産を侵害することのないよう、犬・猫の正しい飼育・管理の啓発・推進を行います。	今年度	狂犬病予防集合注射の実施（5月）、動物遺棄・虐待防止及び防犯を目的とした自主防犯パトロール、狂犬病予防法に基づく野犬捕獲、狂犬病予防注射率の向上、正しい犬猫の飼い方の周知啓発活動を行います。
活動内容	① 狂犬病予防集合注射の実施（5月に東温市内の各地区をまわり、注射をします。）	④	所有者・拾得者からの犬猫の引取り、野犬捕獲及び死骸回収業務
	② 犬の苦情業務（苦情受付後に現地確認し、犬飼主に対して文章でお知らせ）及び狂犬病予防注射接種率向上のための周知・啓発活動	⑤	
	③ 野犬捕獲業務及び死骸回収業務		

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標
	狂犬病予防注射接種率	（集合注射頭数+個別注射頭数）/登録実頭数×100	%	目標	65	70	75	100
				実績	69	70		
	去勢手術数	制度の普及促進のために手術実施頭数を指標としました	頭	目標	150	150	150	150
				実績	90	81		
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	衛生　費

直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備　考
	国・県支出金	25 千円	25 千円	16 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他特定財源	1,502 千円	1,553 千円	1,324 千円	
	一般財源	1,224 千円	1,735 千円	1,620 千円	
	計（A）	2,751 千円	3,313 千円	2,960 千円	
人件費（B）	正職員工数・経費	0.600 人　3,623 千円	0.600 人　3,629 千円	0.600 人　3,656 千円	
	臨時職員工数・経費	0.500 人　910 千円	0.500 人　937 千円	0.500 人　942 千円	
全体事業費（A＋B）		7,284 千円	7,879 千円	7,558 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	現在、狂犬病は発生しておりませんが、蔓延防止には狂犬病注射率70パーセント以上の確保が必要だと言われています。集合注射の利用推進、宣伝活動を行い、更なる注射率向上を図る必要があります。
有効性	平成20年10月より犬猫引取りが有料化となり、捨犬・捨猫の増加が懸念されましたが、現在そのような傾向はありません。しかし、野犬等の苦情は継続してあるため、保健所の協力の元、捕獲器等による野犬捕獲、また動物遺棄防止のための施策に努める必要があります。
達成度	東温市の狂犬病注射率は県内では高い水準にありますが、全国と比較すると依然として低いため、集合注射の利用推進、宣伝活動による注射率向上を図る必要があります。
効率性	現在、近隣市町において、民間実施の狂犬病集合注射が行われてきています。割安なため、東温市内で実施されるようになれば、市と民間実施の集合注射の二極化が予想され、人員・手段等の改善の余地が出てきます。
当面の課題	注射に関しては実施率向上。野犬に関しては苦情もあり、保健所との協力により捕獲を実施していく必要があります。また、動物遺棄による野犬増加、野犬への餌やりにより、野犬の住みつきも懸念されており、捕獲自体に限度があるため、看板等の設置や、パトロール実施等による動物遺棄防止にも努める必要があります。
改革計画	野犬対策に関しては捕獲、パトロール、看板等による呼びかけ、注射率向上に関してはﾎﾟｽﾀｰ、広報、ホームページ、回覧等による周知活動を行います。また、平成23年度からは、犬・猫の不妊去勢手術補助の実施、また狂犬病予防注射を未接種の犬がいる世帯には再通知を行い、狂犬病予防注射実施率向上を目指します。

二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

二次評価での指摘事項	安易なペットの遺棄により野犬等の対策は年々困難な状況となっています。県の保健所及び地域の代表者との協働体制の連携強化を図り、捕獲の向上と遺棄防止に向けた取り組みを継続してください。

東温市事務事業評価シート　平成24年度実施事業対象

No.	010 — 3005	事務事業名	環境検査・測定その他事業	細事務事業名		公的関与	4

PLAN

課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち	政策項目	1 環境施策の総合的推進	主要施策	(4)公害等環境問題への対応	

事業の対象	東温市内の河川等、牛舎周辺地域、基幹道路周辺地域、六価クロム発生地域	根拠法令	水質汚濁防止法、悪臭防止法、騒音規制法等
事業の目的	最終的：環境負荷の発生を早期に把握し、地域環境の保全を図ります。	今年度	河川の水質調査、牛舎周辺の悪臭の測定、基幹道路周辺の騒音測定、六価クロム発生地域の観測井戸のモニタリング調査等を実施し、現況を把握することにより環境保全を図ります。また、個別の公害等の事案について、現地調査を行い改善を図ります。

活動内容

①	市内32箇所の河川の水質検査の実施	④	六価クロム発生地域(牛渕)の観測井戸のモニタリング調査
②	牛舎周辺地域の悪臭測定	⑤	個別の公害苦情事案の対応
③	基幹道路周辺3箇所の騒音測定及び騒音状況の把握		

成果指標

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標
河川の水質検査場所	水質の経年変化の把握	箇所	目標	32	32	32	→
			実績	32	32		
騒音の測定場所	基幹道路周辺の騒音状況の把握	箇所	目標	10	3	3	→
			実績	10	3		
六価クロム観測井戸	モニタリング調査による現状の把握	箇所	目標	7	7	7	→
			実績	7	7		

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	衛生費

		平成23年度決算		平成24年度決算		平成25年度予算		備考
直接事業費	国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円	
	地方債		0 千円		0 千円		0 千円	
	その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円	
	一般財源		2,583 千円		2,368 千円		2,960 千円	
	計(A)		2,583 千円		2,368 千円		2,960 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,020 千円	0.500 人	3,025 千円	0.500 人	3,047 千円	
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			5,603 千円		5,393 千円		6,007 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	環境保全を図るため各種検査及び測定・調査を実施して、環境負荷の発生を早期に把握し、対処していく必要があります。
有効性	環境負荷を早期に把握することができ、速やかな対応が可能となります。
達成度	計画的に各項目の検査・測定を実施しており、目標は達成されています。
効率性	公害等の拡大を未然に防ぐことができます。
当面の課題	環境検査及び測定については今後も継続して実施し、問題がある事案については早期に対処していく必要があります。
改革計画	今後も計画的に検査及び測定を実施します。

二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

二次評価での指摘事項	計画的な検査・測定を実施し、適切な環境保全の維持に努めてください。

東温市事務事業評価シート　平成24年度実施事業対象

No.	010 — 3012	事務事業名	清掃総務事業	細事務事業名		公的関与	1

PLAN

課　名	市民環境課	係　名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち	政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実	主要施策	(1)ごみ収集・運搬体制の充実	

事業の対象	東温市民、市内全事業所、各種ボランティアグループ、市内全域各区、各組	根拠法令	廃棄物処理法、リサイクル関係法令等
事業の目的	最終的	一般廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用の推進とともに、市内から排出された一般廃棄物の適正処理の確保など、循環型社会形成構築に向けた円滑な事業推進①ごみ完全有料化②粗大ごみの戸別収集③ごみの集積場所の集約化④ごみ処理体制の統一化⑤ごみ処理体制の充実	今年度	市指定ごみ袋によるごみの減量化の推進、ごみ処理体制の統一化の検討及び今後のごみ処理の指針となる一般廃棄物処理基本計画の見直し等を行い、適正なごみ処理の推進を図ります。

活動内容				
	①	市指定ごみ袋、ごみカレンダーの作成、各区配布作業及び組外世帯者への配布事務	④	廃棄物検討委員会で今後のごみ処理の方向性を検討
	②	出前講座による市民へのごみ分別周知徹底及び廃棄物処理法に基づく違法行為の処理業務	⑤	一般廃棄物処理基本計画の見直し
	③	廃棄物処理法、リサイクル関係法令及び県条令等に基づく各種事務処理		

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標
		事業の性質上、指標設定ができない。		目標				
				実績				
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	衛生　費

直接事業費		平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備　考
	国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円	
	地方債		0 千円		0 千円		0 千円	
	その他特定財源		4,809 千円		5,329 千円		7,999 千円	
	一般財源		0 千円		0 千円		0 千円	
	計（A）		4,809 千円		5,329 千円		7,999 千円	
人件費（B）	正職員工数・経費	1.800 人	10,870 千円	1.800 人	10,888 千円	1.800 人	10,969 千円	
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
全体事業費（A＋B）			15,679 千円		16,217 千円		18,968 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	一般廃棄物の適正な処理は、法律に定められた市の重要な業務です。今後も継続して行う必要があります。
有効性	ごみの分別を行うことにより、リサイクルの推進を図っており、資源の有効活用を行います。また、ごみ袋に記名していただくことにより、責任ある排出や地区集積場の管理が図られます。
達成度	分別等の周知を図ることにより、リサイクルを含めた適切な処理を行っています。また、ごみの再資源化が図られます。
効率性	近隣市町で既に実施している電子化が必要と考えます。
当面の課題	市民にとって一番身近な問題であり、市民のニーズに即応し、なおかつ市民の理解を得つつ円滑に処理できる収集形態の構築が当面の最重要課題です。
改革計画	現在、2地区体制の収集形態を見直し、3地区体制にして、収集形態を統一化します。収集頻度の見直し等を、諮問機関である「廃棄物処理検討委員会」において検討を行います。

二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実

二次評価での指摘事項	市民生活に密着した非常に重要な業務であり、更なるごみ収集体制の充実を図ることが必要です。

東温市事務事業評価シート　平成24年度実施事業対象

No.	010 — 3022	事務事業名	不法投棄・環境パトロール事業	細事務事業名		公的関与	1

PLAN

課　名	市民環境課	係　名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち	政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実	主要施策	(4)ごみの不法投棄対策の推進	

事業の対象	市内に不法に投棄された廃棄物	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律　他
事業の目的	最終的：不法投棄廃棄物の回収による生活環境の向上及び行為者への指導による不法投棄の根絶を図ります。	今年度	不法投棄の回収及び投棄者への指導を継続することで回収量を減少させます。

活動内容				
①	市内を巡回することで不法投棄を早期発見します。	④	ボランティア清掃で回収された廃棄物を処理することで活動を支援します。
②	早期回収をすることで更なる不法投棄を防止します。	⑤	地区住民による公害監視や不法投棄パトロールを行います。
③	行為者を特定し指導をすることで不法投棄を根絶します。		

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標
	不法投棄回収量	年度ごとの回収量を比較して事業の効果を測るため	kg	目標				
				実績	13,250	11,670		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	衛生　費

直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備　考
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	2,695 千円	3,784 千円	4,370 千円	
	計（A）	2,695 千円	3,784 千円	4,370 千円	
人件費（B）	正職員工数・経費	0.100 人　604 千円	0.100 人　605 千円	0.100 人　609 千円	
	臨時職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
全体事業費（A＋B）		3,299 千円	4,389 千円	4,979 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	不法投棄を把握し、回収を行うことにより、環境美化及び保全を図っています。
有効性	類似する国、県の事業では、ごみの回収をしないため、有効と考えます。
達成度	年々回収量が減少しており、事業効果があったと考えます。
効率性	入札により民間委託しており適正と考えます。
当面の課題	本来管理者が処分すべきものまで回収をしているため、法の主旨に従い各管理者が適正に処分するよう指導する必要があります。また、家庭ごみの不法投棄をなくすよう啓発が必要です。
改革計画	児童を対象とした環境教育、啓発看板の設置。管理者が適正管理するよう指導又は要請をします。

二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

二次評価での指摘事項	適切な処理体制の確保と排出者の意識の高揚が不可欠です。不法投棄防止の啓発活動の展開や監視体制の強化のほか、警察等関係機関との連携を強化し対応を進めてください。

東温市事務事業評価シート　平成24年度実施事業対象

No.	010 — 3023	事務事業名	ごみ収集事業	細事務事業名		公的関与	1

PLAN

課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp
事業区分	施設の維持管理	事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち	政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実	主要施策	(1)ごみ収集・運搬体制の充実	

事業の対象	東温市民	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律　他
事業の目的	最終的：廃棄物の排出抑制及び分別によりごみの減量をすることで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。	今年度	適切な廃棄物処理を行います。
活動内容	①家庭から排出される廃棄物を収集します。	④	
	②収集した廃棄物を適正な方法で処理処分します。	⑤	
	③		

成果指標

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標
リサイクル率	資源化量／処理量×100	%	目標	26	27	29	29
			実績	22	18		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	衛生費

		平成23年度決算		平成24年度決算		平成25年度予算		備考
直接事業費	国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円	
	地方債		0 千円		0 千円		0 千円	
	その他特定財源		11,764 千円		14,059 千円		6,707 千円	
	一般財源		187,466 千円		180,675 千円		199,682 千円	
	計（A）		199,230 千円		194,734 千円		206,389 千円	
人件費（B）	正職員工数・経費	0.300 人	1,812 千円	0.300 人	1,815 千円	0.300 人	1,828 千円	
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
全体事業費（A＋B）			201,042 千円		196,549 千円		208,217 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	住民から直接要望が多いのは、プラスチック類の毎週収集ですが、現状では月2回の収集となっています。保管場所及び予算が確保できれば収集回数の見直しが見込めます。
有効性	ごみの排出抑制及び減量化を実現するためには、現在の社会情勢下では現体制は有効です。
達成度	民間における資源物(金属・故紙)のリサイクルが行われており、収集量・資源化量ともに激減しています。このことが資源化率を低下させる大きな原因となっています。
効率性	可能なものから入札を導入し、ほとんどの業務を民間委託しています。
当面の課題	プラスチック類の収集回数を始めとして収集体制を改善する余地があります。事業費を抑制するために、処理方法の見直しや利用できる民間活動がないか引き続き検討します。集団回収等により資源ごみの収集量が減少しており、リサイクル率が低下しているため、更なる分別の周知が必要です。
改革計画	周辺市町の有料化や戸別収集等の施策を参考に収集体制を改善・充実させます。 また、リサイクル率向上のため、出前講座などで更なる分別周知を行います。

二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

二次評価での指摘事項	リサイクル率の向上に向けて、更なる取組みを進めてください。

東温市事務事業評価シート　平成24年度実施事業対象

No.	010 — 3025	事務事業名	清掃施設管理運営事業	細事務事業名		公的関与	3

PLAN

課　名	市民環境課	係　名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp
事業区分	施設の維持管理	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち	政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実	主要施策	(2)ごみ処理体制の充実	

事業の対象	東温市民及び市内事業所の一部	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律　他
事業の目的	最終的　分別して排出された廃棄物を適正に処理します。	今年度	安全かつ適正に処理を行います。
活動内容	① クリーンセンターの管理運営	④	
	② リサイクルセンターの管理運営	⑤	
	③		

成果指標

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標
事故発生件数	施設での事故件数	件	目標	0	0	0	0
			実績	0	0		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	衛生　費

		平成 23 年度決算		平成 24 年度決算		平成 25 年度予算		備　考
直接事業費	国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円	
	地方債		0 千円		0 千円		0 千円	
	その他特定財源		6,814 千円		5,828 千円		5,140 千円	
	一般財源		57,045 千円		55,798 千円		61,014 千円	
	計（A）		63,859 千円		61,626 千円		66,154 千円	
人件費（B）	正職員工数・経費	2.200 人	13,286 千円	2.200 人	13,308 千円	2.200 人	13,407 千円	
	臨時職員工数・経費	7.000 人	12,740 千円	7.000 人	13,118 千円	7.000 人	13,181 千円	
全体事業費（A＋B）			89,885 千円		88,052 千円		92,742 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	生活環境を清潔に保つために必要不可欠な事業です。
有効性	現状では事故なく安全に管理できていますが、施設の老朽化が一部で目立つので、改修が必要です。
達成度	安全運転管理や日常点検を徹底し、事故の発生を防いでいます。
効率性	保守点検を行うことにより、改修箇所の年次計画を立てて、効率的な維持管理を行っています。 また、修繕箇所の早急な対応を行っており、故障箇所の拡大を防ぐことができます。
当面の課題	施設の老朽化に伴う維持管理費用の増加が挙げられます。
改革計画	計画的な点検、維持管理及び補修工事により延命を図ります。

二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

二次評価での指摘事項	点検・維持管理の徹底と計画的な補修工事により施設の延命化を図るとともに、広域化・民間委託等の将来の方向を見据えた検討を進めていく必要があります。